

## 対応状況報告書

大 学 名： 長崎大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和6年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○工学研究科グリーンシステム創成科学専攻（5年一貫博士課程）、水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻（5年一貫博士課程）及び医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士後期課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	<p>○工学研究科グリーンシステム創成科学専攻（5年一貫博士課程）</p> <p>○水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻（5年一貫博士課程）</p> <p>【現状】</p> <p>工学研究科と水産・環境科学総合研究科を再編し、令和6年度に総合生産科学研究科を設置したため、工学研究科及び水産・環境科学総合研究科の募集を停止した。</p> <p>○医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士後期課程）</p> <p>【現状】</p> <p>過去5年間の入学定員充足率は平均66%となっており、現時点で状況は改善されていない。</p>

（注）

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料

番号以降の連番としてください。

5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。